

(5) 観光・特産品振興による地域ブランド力の強化

ア 地域資源を磨き上げる

< 主な取組状況 >

「あいちの山里で暮らそう 80 日間チャレンジ」の 5 人のチャレンジスタッフが、三河の山里〔豊田市（旧稲武町、旧旭町、旧足助町、旧小原村）、新城市（旧鳳来町、旧作手村）、設楽町、東栄町、豊根村）〕で生活をしながら、日々の暮らしでの発見や感動など、山里の暮らしの魅力や様々な地域資源をフェイスブックなどで情報発信【新規】



NPO、観光事業者、観光関係団体等からなる「あいち観光まちづくりゼミ」において、地元のゼミ生が中心となって企画した、新城市モニターツアー（「奥三河 沢登りツアー」）及び豊根村モニターツアー（「県境域の山里で、幻となった蕎麦を復活させる旅」）を実施

地域提案公募型観光推進事業において、新城市観光協会が、奥三河7商工会、新城青年会議所と連携して、奥三河地域への誘客を図るため、「食、歴史、自然体験」をテーマとした周遊性のあるツアー（「奥三河体験と探訪の着地型観光ツアー『奥三河の恵みを体感しよう！』」）を実施



花祭の歴史的意義を再認識するとともに、継承を起点とした地域振興を図るため、「花祭の未来を考える実行委員会」（事務局：名古屋大学）が「花祭の保存・伝承による地域活性化事業」（文化庁補助事業）において、神事・舞のアーカイブ化や公開シンポジウムの開催などを実施



花祭シンポジウムでの交流の様子（名古屋大学）

県瀬戸窯業技術センターによる、花祭保存会と連携した瀬戸物による花祭の返礼品の制作支援



布川の花祭返礼品（県窯業技術センター）

「奥三河の花祭」情報発信事業による花祭のガイドサイトを制作【新規】



スマホでバーチャル体験  
奥三河の花祭

豊田市小原地区で開催の「里山アートプロジェクト in おばら『ヤイヤア一祭』」と事業連携して、「あいちトリエンナーレ地域展開事業」を実施

## イ 観光・特産品のプロモーションを強化する

### <主な取組状況>

「奥三河プロモーションボード」を開催し、奥三河の観光資源の新たな価値を洗い出すとともに、効果的な観光情報の発信・提供方法等を取りまとめたPRプランを作成【新規】



奥三河プロモーションボードの様子

三河山間地域の文化芸術資源、特産品等を広くPRするイベントを茶臼山高原で開催（きてみん！奥三河 Music ハーモニーフェスタ in 茶臼山）



郷土芸能  
（貝津田棒の手）

中日ビルのアンテナショップ（「ピピットあいち」）や「FOODEX JAPAN」への出展など、都市地域において三河山間地域の特産品のプロモーション活動を実施



ピピットあいち

三河山間地域の特産品等のPRなどを効果的に実施するための研究会を実施【新規】



研究会の様子

「あいちの山里で暮らそう 80 日間チャレンジ」で発掘した三河山間地域の魅力について、インターネット動画「ルーガ・リーモ通信」をユーチューブで発信



インターネット動画  
「ルーガ・リーモ通信」

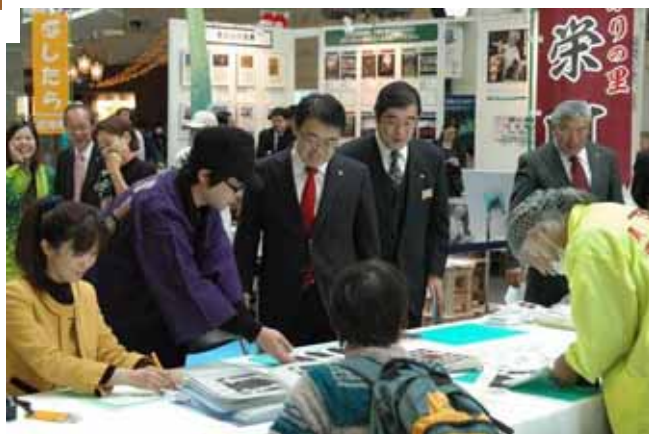
(作品タイトル)

家族愛が育まれる木工の里	金ちゃんのスゲエ・体験ルート！
林業に賭ける思いは誰にも負けない	ここに星があるから私がいる
山里には、てくてく夫婦が良く似合う	私が切り撮るのは私だけの時間
山里は発想の宝庫	山の幸、活かす知恵は山里の思い
花いっぱい、造る喜び、見る幸せ	花祭り、十五の榊と十五の思い
湯谷を創るのは湯谷から	山里に日本酒ガール、酒粕ワッフル
山里は食の宝庫	

「あいちの農林水産フェア」（平成24年11月）及び「三河の山里体感プラザ in セントレア」（平成25年2月）を開催し、特産品や観光資源をPR



左：あいちの農林水産フェア（丸栄）



右：三河の山里体感プラザ（セントレア）

奥三河地域の総合観光ポータルサイト「キラッと奥三河観光ナビ」を地元企業・観光協会と連携して運営

「愛知の観光説明会（商談会）」を東京都及び大阪府で実施し、観光事業者に対して三河山間地域の観光・特産品PRを実施

## 【コラム あいちの山里で暮らそう 80 日間チャレンジ】

愛知県では、三河山間地域の活性化を図るため、「あいちの山里で暮らそう 80 日間チャレンジ」を実施しました。

この事業は、8月下旬から12月下旬までの4カ月間、三河の山里〔豊田市（旧稲武町、旧旭町、旧足助町、旧小原村）新城市（旧鳳来町、旧作手村）設楽町、東栄町、豊根村〕に5名のチャレンジスタッフを配置し、実際にその地域で生活をしながら、山里の暮らしや地域のイベント等の情報を、フェイスブックを活用して広く全国に発信することで、三河の山里の観光PRだけでなく、交流・移住の促進を図るものです。

チャレンジスタッフは、「ルーガ・リーモ」を合言葉に地域での生活や活動をとおして、「よそ者」「若者」「女性」の視点であいちの山里の有形無形の地域資源を見つめなおし、あいちの山里の新しいライフスタイルを提案しました。

フェイスブックを通して情報発信を行うことにより、これまでこの地域に目を向けることが少なかった、都市部の、特に20代から40代までの方々に三河の山里の魅力を発信することができました。

また、今回の事業の実施により、各地域では、チャレンジスタッフとともに新たな視点での特産品の開発や観光資源のPRなど、地域活性化に向けた取組が多く行われました。

愛知県では、三河山間地域において外部の視点を活かしながら地域づくりを進める取組を市町村とともに推進してまいります。



### 情報発信（チャレンジスタッフ活動開始～）

特設ホームページトップページビュー数	63,554件
チャレンジスタッフ記事投稿件数	4,155件
Facebookの「いいね！」総数	3,069件



## ウ 周遊性を強化する

### < 主な取組状況 >

奥三河地域に多くある自然豊かな景勝地を始め、史跡・伝統芸能等の観光資源などを都市部の消費者に伝え、奥三河に関心を示し、足を運び、体験したくなるような、テーマ性、ストーリー性のある冊子「はっけん！奥三河 n a v i」を作成



はっけん！奥三河 n a v i

戦国武将ゆかりの史跡を巡る「武将のふるさと愛知スタンプラリー」を実施

愛知県WEBサイト「あいちの都市・農村交流ガイド」でグリーンツーリズムモデルルートを情報発信

案内標識や公衆トイレ設置など周辺環境の整備について助成